

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭	森本裕美 新居知美 吉本佑司
学力向上推進員	教務課長	豊田尚子
委員	各学部長 主幹教諭 研究課長 人権進路課長 教務主任	原田真理 宮本洋子 谷口夏紀 森 浩一 森 雅美 二宮智子 片寄恭代 大内千代

2 学力・学習状況における現状分析、目標等

【3つの視点】

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

(小 学 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況		
よ さ	安心感のある学校生活の中で生活リズムを整えながら、学習や経験を深めることで、興味関心を持ち意欲的に活動できる。保護者や関係機関の支援を受け、自立活動を主とする教育課程で健康と安全に留意しながら学習に取り組んでいる。	課題 新しい課題に向き合い習得していくための土台となる学習に向かう姿勢を向上させることで、日々の積み重ねで確かな学力を身につけていくことが課題である。
具体的目標(目指す子どもの姿)	成果指標	達成状況
教員からの働きかけを受け入れて感覚入力し、ボディイメージが高まったり、外界への興味が広がったりする。	各児童において、学習場面や教員との関わりの中で、1つ以上の行動の変容が見られる。	評価
具体的方策(教員の取組)	取組指標	取組状況
継続することが力となることを意識した身体等へのアプローチを繰り返し行う。	教員一人一人が、感覚入力することを意識した取り組みを毎日1回以上行う。	
* 中間期の見直し		
達成状況を踏まえた改善事項		